

【第9回松戸市緑推進委員会の開催】

1. 日時 令和4年3月30日(水) 14:00~16:00

2. 場所 松戸市役所 市民サロン (新館5階)

3. 出席者

○緑推進委員

柳井重人・木下 剛・平岡 考・小谷幸司・小嶋 功・高橋盛男・
河合直志・石川静枝・高橋 節・藤田 隆・佐藤秀樹・狭間明美

○松戸市

齋藤博紀 (街づくり部審議監)
布施 優 (公園緑地課課長)
白石義之 (21世紀の森と広場管理事務所所長)
田辺久人 (松戸みどりと花の基金事務局長)
竹内茂樹 (公園緑地課課長補佐)

○兼事務局(みどりと花の課)

岸 秀一(課長)・三末容央(専門監)・木村高德(補佐)・和宇慶さやか(主任)・
岩田 昇(主査)

○LAU 公共施設研究所(松戸市緑の基本計画策定委託受託者)

牧野

○傍聴 0名

事務局より本委員会の成立について、委員15人中12名の出席により成立している旨報告あり。

4. 議事次第

1 開会

2 議事

- 1) 議事要録の確認について
- 2) みどりの基本計画の策定について
- 3) 緑と花のフェスティバル2022参加について
- 4) 第10回オープンフェスト in 松戸の後援について
- 5) 松戸市緑推進委員会市民委員募集について
- 6) サロン部会からの報告・みらいフェスタ参加について
- 7) 答申・提言および活動報告について
- 8) その他

3 連絡事項

4 閉会

議事1) 議事要録の確認について

会長

議事1 前回委員会の議事要録の確認について意見等はないか。
無いようであれば事前送付済みの書類を議事要録とする。

議事2) みどりの基本計画の策定について

事務局

先ずお手元の資料を確認させていただきます。

資料1として、「松戸すみどりの基本計画（案）主な修正箇所の一覧」

資料2として、基本計画のうち修正した箇所の抜粋資料

資料3として、「第11期委員会の答申・提言及び活動報告（案）」

資料4として、「緑と花のフェスティバル協力依頼文」

資料5として、「オープンフォレストin松戸」のチラシ

資料6として、サロン部会からの「みらいフェスタ」の参加報告

以上が本日の配付資料です。

過不足がございましたらおっしゃってください。

事務局

それでは、議事2)の緑の基本計画の策定について、最終修正箇所の確認をさせていただきます。

パブリックコメントでいただいたご意見、緑推進委員会での先日の書面開催の審議などを含めまして、事務局で最終修正をさせていただいたものです。

既に、みどりの基本計画の事務手続きについては、本日、市長決裁を終えることになっており、4月1日に公表予定となっております

また、同時にパブリックコメントの結果についても公表されます。

それでは、お手元の資料1と2により、簡単に説明させていただきます。

前回2月の委員会が書面開催だったことにより、委員の皆さまには、これまでの変更経過が、把握しづらい部分もあるかと思っておりますので、書面開催時の変更事項の説明と一部重複させ、主な変更箇所をまとめたものが資料1の一覧となっております。

この一覧の中から、委員の皆さまやパブリックコメントでいただいたご意見への対応箇所と、事務局による大きな変更箇所だけを取り上げてご説明させていただきます。

まず、表紙が出来ました。表紙につきましては、千葉大学園芸学研究院博士研究員であります、エルミロヴァ・マリアさんをお願いしてイラストを描いていただきました。マリアさんはお名前から分かりますとおり、外国から千葉大に勉強しにいらっしゃり、今は成徳大学の近くの岩瀬自治会館の管理人を、同じく表紙の構成を手伝ってくださったパートナーである寺田光成さんと一緒に住込みでなさっております。緑だけでなく、地域コミュニティの分野でも最前線で活動していらっしゃる方です。

依頼にあたりましては、「松戸を象徴するようなみどりの風景を描いてほしい」「表紙だけでみどりの基本計画のテーマである『みどりと暮らす豊かさ』を表現してほしい」と、かなり無理なリクエストをさせていただきました。行政が作るこうした計画書の表紙としてはかなり斬新なものとなり、いろいろご意見はあるかとは思いますが、表紙だけでみどりの話ができるという、これから基本計画をPRしていくことも考えますと、とても良い表紙になったと思っています。

また裏表紙については、松戸の里やまの利用をイメージした画となっております。

次に、資料2枚目には計画策定にあたっての市長のコメントを記載しております。今回の計画の

基本理念である「松戸みどりの市民憲章」の再認識と、郷土の再発見、愛着、誇りを持てるまちづくりに、みどりが積極的に関わっていくという方向性を示しております。

次に計画の構成です。ここでは、委員会からいただいたご意見を踏まえ、右の第4章の枠内の記載に「みどりの市民力」が計画の推進に大きく関わっていることが分かるように追記をさせていただきました。

次に本文に入って6ページの下、背景としてのオンリーワンの都市づくりの説明文の中に、松戸市の弱みとして、まちを象徴するシンボルが不足していると記載があったのですが、委員から「決して不足しているのではなく、使い込めていないだけだ」とのご意見をいただいたことを踏まえ、弱みの記載ごと削除したものです。

次に8ページです。ここは都市計画マスタープランの記載が確定することを待って、みどりだけでなくまちづくり全体の方向性を記載しております。

次に33、34ページです。ここは特に専門家会議の中で指摘を受けたページです。33ページは分かりやすい凡例の色づかいやデザインを、34ページでは、このページで松戸市が何をしたいのかを分かるようにしてほしいとのご指摘を踏まえ、説明書きを充実させたものです。

次に35、36ページです。このページも委員会で様々なご意見をいただいた箇所です。基本方針1では、既存のみどりを確実にしっかりと守る旨の記載にしてほしいという委員からのご意見を踏まえ修正しています。

36ページの目標の書き方については、受動的ではなく能動的記述とし整理したものです。

次に45ページです。こちらはパブリックコメントでインクルーシブについてのご意見をいただいたことを踏まえ、記載を修正したものです。インクルーシブという聞きなれない言葉ですが、インクルーシブとは、公共施設においては、「皆が一緒に」とか「多様性のある」施設に使われる言葉です。ただしインクルーシブという言葉の使用については、概念がはっきりと定まっていないような状況もありますので、ここではインクルーシブではなく、同じ意味を持つ「多様な公園利用者」という記述で対応させていただきました。

次に49ページです。「市所有の樹林地の管理については越境枝、枯木処理などの最低限の維持管理を行う」という記載になっていたものを「管理を充実させる」と修正させていただきました。

次に50ページです。ここは修正ということではなく、確認ということでお話しさせていただきます。市では「特別保全樹林地地区」という、森の所有者に維持管理費の一部を助成する制度があり、この「特別保全樹林地地区」の指定については「松戸市緑の条例」において、緑推進委員会の意見を聴いて、指定を促進する区域を定めるという条文がございます。

市では毎年特別保全樹林地地区の指定をしておりますが、指定についてその都度委員会に諮っておりません。これについては、50ページ③の記載の中に、「市内に残された貴重な樹林地の減少に歯止めをかけるため、市全域のすべての樹林地について、条例に基づく保全樹林地地区の指定に努め、更にはより担保性の高い特別保全樹林地地区へ移行する」という基本計画内の記載について、委員会の意見を聴いた上での基本計画での記載としており、それにより「特別保全樹林地地区の指定は緑の条例を踏まえた指定になっている。」という建付けになっているものでございます。

これについては、現基本計画においても同様に扱ってございましたので、改めて確認ということで

お話しさせていただきました。

次に 115 ページです。みどりと暮らす豊かさのイメージに、パブリックコメントでいただいた意見を踏まえ、みどりを育てる基盤となる「土」「土壌」についての記載をしてほしいとのご意見を踏まえ、「土の力」の文言を追記しております。

132 ページです。補助金の活用として、あまたある国や県の助成制度を民間事業者が活用するにあたり、市も支援してほしいとの委員からのご意見を踏まえ追記しております。

次に 139 ページです。この場をお借りして、大変恐縮ですが、委員会の名簿に記載されているお名前、所属等の内容が正確に記載されているか、この場でご確認をお願いいたします。

委員

「広報コミュニケーションディレクター兼自然誌研究室専門員」から「広報ディレクター兼専門員」としてください。

会長

木下委員も同じであるが、「千葉大学大学院園芸学研究科」から「千葉大学大学院園芸学研究院」としてください。

事務局

修正いたします。

次に 140 ページです。はじめに表紙の説明をさせていただきましたが、ページの一番下に、お名前、所属、作画にあたってのご本人のコメントを記載させていただきました。

委員

こちらの所属も千葉大学大学院園芸学研究院」としてください。

事務局

修正いたします。

次に 141 ページです。これは修正ということではございませんが、4 年を掛けて基本計画が出来上がったことに加え、みどりのサロン部会の活動がいかに活発であったかがお分かりになるかと思えます。

最後に 152 ページです。TOPIC に松戸市の木・花・鳥の記載を追加したことに加え、このページが最終ページになりますので、ここで委員からのご意見にあった TOPIC の目次を追加しました。

以上が主な変更箇所の説明となります。

会長

事務局より最終修正の説明をいただいた。平成30年から議論を重ねてきて、いよいよ策定となる。前期に引き続き今期の委員のみなさんにも熱心に議論いただけたことに感謝する。表紙についても行政の計画書としてはインパクトのある出来である。みなさんの感想や意見等を伺いたい。

委員

当初想定していた基本計画はシンプルな内容のものであったが、最終的にはかなりのボリュームの計画書となった。社会的な要求が多様化するような時代には、逆にポイントを絞ってやることを明確にした方が良い。

会長

計画書に記述があることはピックアップも出来ることになる。選択と集中の項目候補になっている。

委員

ポイントを押さえた概要版やパンフレットのようなものがほしい。

事務局

今後、皆さんと作成していきたいと考えている。

委員

中身が充実している分、一般市民には分かりにくい部分がある。要約したようなものがあると使いやすい。

委員

子供達と一緒に見れるくらいに表紙についてはかなり生活に密着しており、親近感がわくものに仕上がっている。概要版のようなものがあるとより良い。

委員

一言でみどりと表しても、公園、街路樹、農地、里やま等多岐に渡るものなので、まとめるのは大変であったと思うが、この基本計画に携われて良かったと感じている。今後の計画の実行・実現に期待している。

委員

6頁の修正ありがとうございました。先日、市民活動をしている方と話す機会があったが、常盤平で生まれ育った方から「常盤平は緑が多い」との言葉を聞いた。自分のことを「常盤平っ子」と表現することからも地元へ愛着を持っていると思う。この基本計画の推進により、みんなが松戸に誇りを持てるようになると良い。

委員

改めてサロン部会の開催回数をみると沢山やっている。

前基本計画と比べるとかなり前進したように思うので、計画の改定が出来て良かったと感じる。東京のビル群から松戸に近づくと緑が見えて安心する。この様なみどりを守っていけると良いと思う。

委員

民間の時にコンサルとして5市町村ほどの「緑の基本計画」策定に携わり、最近では茅ヶ崎の計画にも携わった。施策を体系付ける切り口などは斬新で今回かなり良いものできたと思うが、今後はアクションプランの実行が大切になってくる。概要版の作成についても、作成で終わらないでアクションの実行をして欲しい。

委員

みどりの基本計画に松戸市は4年掛けているが、他市では1年も掛けないように思う。その分この計画は内容が充実して濃いものになっている。基本計画は色々な視点を示して内容が濃くなるのは良いことだが、実施については施策を選んで取組む必要がある。市民力やライフスタイルが厚みのある内容となるのは松戸の特徴ではないかと思う。今後の施策の展開に期待している。

会長

計画の完成というよりも実行のスタートラインに立った気持ちである。

どんな計画も実行しなければ何にもならない。今後の施策の実行にはサロン部会でも検討している通り、市民力の最大化がポイントになる。表紙だけではなく中身も実際の行動も変わったと評価されるように、皆さんの協力をよろしく願います。

会長

事務局から、公表方法等の説明をお願いします。

事務局

みどりの基本計画は市のホームページに掲載されます。またパブリックコメントの結果につきましても、基本計画と合わせ、広報まつど、ホームページに掲載される他、みどりと花の課、行政資料センター、支所、図書館の本館・分館、まつど市民活動サポートセンターで閲覧による方法で公表されます。

また、公表の期間ですが、公表された年度の翌年1年間となりますので、令和6年3月末までパブリックコメントは公表されることとなります。

また、みどりの基本計画の印刷製本は、4月以降の予算での対応となることから、早くも4月末の契約となりますので、製本して皆様に配布できるのは、早くも6月くらいになり、第11期の最後の委員会で市長に直接答申する場がございますので、そこに間に合えばと思っております。

会長

概要版になるのか市民への提案集となるのか、こちらは継続して議論していきましょう。

議事3) 緑と花のフェスティバル2022参加について

みどりと花の基金

日頃より基金へのご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

「緑と花のフェスティバル2022」の開催日時につきましては4月29日の午前9時30より午後3時まで、場所は21世紀の森と広場の「つどいの広場」となり、例年通りになりますが、直近の2年間は新型コロナウイルスの影響で開催が出来ませんでした。参加見込みについては約50団体と例年よりも若干少なくなっています。新型コロナウイルス感染症対策としてゲートを設けて消毒、マスクの確認、連絡先の登録を行う予定です。みなさんの健康について万全を期していきたいと考えているので、ご理解とご協力をお願いします。

事務局

緑と花のフェスティバルにつきましては、本委員会も参加しており、今回も「松戸里やま応援団」や「緑のネットワークまつど」のご協力を頂き、「みどりのスタンプラリー」を実施したいと考えております。

事前に松戸里やま応援団に相談したところ、松戸里やま応援団からフェスティバルの参加方法についてご意見をいただき、例年とは若干内容を変更して参加したいと考えております。

松戸里やま応援団からのお話として、参加人数に限りがあること。またコロナ対応が必要なことから、応援体制を縮小したいとのお話がありました。そこで、事務局としてどのような形でご協力をお願いするか案を検討しました。

例年行っているスタンプラリーを今回も実施したいと思いますが、里やま応援団の皆さまには、今まで全てのスタンプポイントをお願いしていました。

里やま応援団の皆さまには、負担を軽減する形で、「里やまの活動紹介コーナー」ともう1、2か所だけをスタンプポイントとして、他のスタンプポイントを「みどりと花の課ブース」、「公園緑地課ブース」、「緑推進委員会ブース」とすることで、スタンプラリーを行いたいと思います。詳細については検討中です。

また、里やま応援団への応援要請については、これまで緑推進委員会の現役、OB、OGからなる「みどりの行動会議」の名義で行っていましたが、コロナ対応による事務の簡素化の観点から「緑推進委員会」に変更したいと考えております。ただし、「みどりの行動会議」の皆さまには、今まで通

り当日の応援依頼を継続したいと考えております。

会長

今年は3年振りに「緑と花のフェスティバル」が開催されるとのことですが、コロナ対応の関係もあり、例年とはスタンプラリーの内容を若干変更したいとのことです。

里やま応援団の負担を軽くするなど、細かい内容については、まだ検討中ということですが、委員の皆さんからは何か提案、全体的な意見などはありませんか。

3年振りなので、簡単に何をやっていたか説明します。まず、緑推進委員会がブースを一つ持っていて、そこでパネルの展示とスタンプラリーの受付とゴールをやりました。ゴールした子には景品を渡しました。スタンプポイントでは何かしら体験してもらい、スタンプラリー台紙の裏側には緑推進委員会の活動内容を記載し、多少の勉強をしてもらうなどしています。ラリーの台紙は800枚から900枚配って500枚位帰ってくるので、それくらい景品が必要となりますが、不用品を提供してもらったり、簡単な物を作ったりしました。当日は緑推進委員にもブースの運営に参加してもらっています。例年のラリーポイントは里やま応援団にお願いしていましたが、今年は「公園緑地課」や「みどりと花の課」のブースをポイントにして里やま応援団の負担軽減をしたいとのことです。

それでは、フェスティバルに参加すること、また、里やま応援団へ緑推進委員会からの協力依頼につきまして、ご承認いただけますでしょうか？

——— 承 認 ———

会長

ありがとうございました。では、参加するというので、事務局の方も対応をお願いします。

緑と花のフェスティバルへの参加について、事務局より補足をお願いいたします。

事務局

日時は4月29日（金）午前9時30分から午後3時までとなっております。委員の皆様におかれましても、是非お越しいただければと思います。

毎回のご願いでございますが、みどりのスタンプラリー参加者に景品をご用意しようと考えております。委員の皆様の方で何か景品にふさわしいものをお預かりできるものがございましたら、事前にみどりと花の課までご連絡頂けると幸いです。

フェスティバルにつきましては以上です。

会長

当日は9時30分ということで、参加頂ける委員の方がいらっしゃいましたら、よろしく願いいたします。

議事4) 第10回オープンフォレストin松戸の後援について

事務局

資料5になります。

第10回のオープンフォレストin松戸は5月14日（土）から22日（日）の9日間を予定しております。

詳細は担当よりご説明させていただきます。

みどりと花の課

第10回オープンフォレストin松戸につきましては、3年振りに春の開催を予定しています。

新型コロナウイルスの動向が見通せないことから、室内での展示、森の文化祭等は行わず、主に森の公開をします。こちらにつきましても、コロナ対策が取れる催しを考えております。今回は令和

元年5月より活動を始めた森を含めて18箇所の森の公開を予定しています。後援依頼先について、今回は、中止になった場合の事務処理を軽減するため、「みどりと花の基金」、「緑推進委員会」に限定いたします。

以上が説明となります。こちらについては承認事項となりますので、よろしく願いいたします。

会長

第10回ということで、本来はメモリアルなものであるが、世の中の状況を考えて、感染対策に配慮した開催になる。後援については今まで成徳大学、山階鳥類研究所、新京成電鉄、北総開発鉄道にしてもらっていたが、今回は「みどりと花の基金」、「緑推進委員会」の2団体の後援になる。では、第10回オープンフォレストin松戸の後援を承認してよろしいでしょうか。

——— 承認 ———

委員

ガイドブックについて、良く出来ていると思うが、一般の市民はこれにアクセスできるのか。是非とも手に取ってもらいたいと思う。

みどりと花の課

こちらのガイドブックは藤田委員にも協力頂いて作成した。

「森にあまり興味がない人にも手に取ってもらえるようなもの」をコンセプトに作成したので、色々な人に見て貰いたい。

委員

昨年の9月より打合せを始め、議論を深めて来た。紙質や手書きにこだわったり、元緑推進委員や今年度の里やま入門講座修了生の若い人に意見を聞いたりして、いいものが出来上がった。子供や親が手に取りやすいものであり、それがみどりに関わるキッカケとなると良いと思う。

会長

今まではOF用のガイドブックであったが、今回のデザインでは通年使用できるように作成しているところが、従来のものとは大きく違う部分である。たくさん印刷していろいろな人に見て貰いたい。

委員

何部印刷してるのか。

みどりと花の課

5,000部作成している

委員

ホームページでのダウンロードは出来ないのか。

みどりと花の課

今は出来ないが、従来のものが出来たので、今回のものも出来るようにする。

委員

行動会議の七夕プロジェクトで竹を配る児童クラブとか、色々なところに配りたいが良いか。

みどりと花の課

沢山の人に手に取ってもらいたいと考えて作成した。配布できる施設等ありましたら是非配っていただきたい。

委員

あそびの森に参加した団体に配っても良い。

議事5) 第12期松戸市緑推進委員会市民委員募集について

事務局

今の第11期委員会の任期は今年6月末までとなっており、7月からは第12期の委員会が始まります。委員会を構成する委員につきましては、委員会の組織及び運営に関する規則において、学識経験者4名以内、関係団体を代表する者5名以内、市民6名以内と定められており、市民委員につきましては、公募によりテーマを設定し、レポートを書きいただき、学識経験者の委員の皆さまと、行政職員によって審査の上、6名の委員を選考させていただいております。

前回の公募では、前委員4名に加え佐藤委員と狭間委員の2名に応募いただき、定員数6名を確保できたという状況がございましたが、例年応募者数が少ないことには変わりがなく、何とかレポートを書きいただけるようなテーマを設定したいと思っております。

募集案内は4月15日号の広報紙に掲載されます。

今日はこの場で、皆さんにどのようなテーマが良いのかご意見をいただければと思います。

ちなみに、前回のテーマは「みどりのある暮らし」、前々回は「松戸のまちづくりとみどりについての提案」というテーマでした。

会長

少しでも応募者を増やしたいところですが、いかがでしょうか。

どんなテーマ設定がいいか、実際に応募してくださった市民委員の方はいかがでしょうか。文字数に制限はあるのか。

事務局

1,000文字程度となっています。

委員

応募者の増加が期待できるテーマを考えるということか。

会長

応募者の増加であれば「市の広報だけでいいのか」等も検討事項となる。

委員

基本計画の実行が緑推進委員会としても課題なのでアクションプランが必要になると思うが、その実行案のようなものをレポートにして貰えば今後の緑推進委員会の活動に繋がるのではないかと。ターゲットに関しては、緑推進委員会に若い世代や子育て世代の参加難易度が高いのではないかと。

委員

会長としては、このようなレポートが来てほしいとかはないか。

会長

余り専門的に絞込み過ぎない方がエントリーし易いだろう。レポートも実際にやっていることを書いたものは説得力があることが多いと感じている。しかし、委員会なので多様な人に参加して貰い様々な意見を貰えると良い。平日の昼間に委員会が開催されるので、現役世代の参加は難しいかなと思う。

委員

緑推進委員会への参加は無理でもサロン部会への参加は可能という人もいると思う。

委員

緑推進委員会の裾野を広げるような場があっても良いと感じている。参考までに、里やまボランティア入門講座では「松戸のみどりの、気になるところ、いいところ」から「自分なら松戸のみ

どりをどうするか」を聞くようにしている。このようなテーマであると現状を考えた上で、自分なら松戸のみどりをこうする等の意見が聞ける。そのような方が考え易いし、個性も出る。

会長

委員会の開催については急に変えるようなことは出来ないが、緑推進委員会の裾野を広げる意味では、みどりの行動会議という緑推進委員会から派生した活動や、みどりのサロン部会などは緑推進委員でなくとも参加できるものなので、上手く活用できると良い。

是非、今の市民委員の皆さんも、サロン部会で頑張ってくださいですので、ご応募して頂ければと思う。

事務局で、補足がありましたらお願いいたします。

事務局

補足させていただきます。委員の選考につきましては、次回の5月の委員会の終了後に行う予定としております。よって、次回の委員会は、通常2時間いただいているお時間を1時間半に短縮し、あとの30分を選考会に割く予定でおります。

よって、柳井会長、木下委員、小谷委員、平岡委員におかれましては、委員会終了後30分程度お時間をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

また、現市民委員の皆さまにおかれましては、事務局としても是非応募いただければと思っておりますので、よろしくお願いたします。

また、学識経験者の委員の皆さま、また関係団体を代表する委員の皆さまにおかれましても、事務局としましては引き続き、委員をお願いさせていただきたく思っておりますので、よろしくお願いたします。

また、あまり考えたくはないですけれども、もし何かのご事情により、次の委員会は辞退したいということがございましたら、事務局にご相談いただければと思っております。個別に対応させていただきますので、ご遠慮なさらずにおっしゃってください。よろしくお願いたします。

会長

一緒に議論してきたみどりの基本計画が、今度は実施に移行するスタートアップのタイミングである。ご応募していただければと思っております。

議事6) サロン部会からの報告・みらいフェスタ参加について

委員

まず、参加することに至った経緯は、元々は「第2回のみどりのフォーラム」の実施に向けた準備をしていたが、コロナの影響で中止になり、サロン部会でテーマとなっていた「プラットフォーム」や「情報発信」に関連して何か出来ないかということで、まつど市民活動サポートセンター主催の子ども関連イベント「みらいフェスタ2022」に参加して、みどりのPRをしてみようということになった。こちらのイベントには、「来場したお客さんに市民活動を知ってもらおう」「参加した団体が交流し合おう」という二つのテーマがあり、子育て世帯が多く参加するイベントであることから参加した。

イベント当日は昼に雨で中止となってしまったが、事前準備の打合せは、ほとんどをズームでする等、今までしたことがない経験が出来た。また、「プラットフォーム」の構築にはサポートセンターの力が必要であると感じた。イベントでは未就学児も多かったが、クラフト体験は3才くらいの子供から体験することが出来た。子育て世帯の親にも好評であったが「どこに行けば何が体験できる

のか」「みどりに関するサービスを受けられる入口がどこにあるのか分からない」という印象を受けた。

他団体との交流については、自分達のブースの運営で手一杯となってしまうと何もできないため、新しい「まつど森ずかん」は良いツールである。

子供達に仕事を体験してもらおうイベントの一つとして、花壇への花植え体験を行ったが、とても好評であった。

今回、初めて参加するイベントのため、反省点もあるが、順番に改善して行く。

委員

初めて参加するイベントのため、対象年齢をオープンフォレストと同じくらいに設定したところ実際の参加者年齢は2才～10才そして、大人の方。木の実と木の葉を用意し、「こんな場所に行くとこれがある」というような関連付けをして説明をした。中には、ドングリも葉っぱも全て言い当てる子どもいて感心させられた。最近、近所の公園が整理されたが、子供達の足跡がとても増えたことから、身近にみどりが存在すれば、子供達は自然とそれに触れ合って遊んでくれる気がする。

そんな場を提供できればと考えさせられたイベントだった。

委員

ズーム打合せへのアクセスが上手くいかなかった点は個人的な改善点となる。

今回の目的は「松戸すみどりの基本計画の周知」と「ネットワークにつながる事」と考えていたが、難しいことを考えるのではなく、子供達がみどりに触れ合うキッカケを用意する方が会場の雰囲気合うと思った。

会長

参加された委員から報告があった花植えイベントは人気があったのか。

委員

子供が仕事を体験して報酬として会場内で使用できる通貨を獲得するもので、今回サロン部会では緑と花の基金の協力を得て420株の花を用意し花壇に「みらいフェスタ」の文字を作った。

委員

10以上の仕事の種類があったが、一番人気であった。単純に花を植えたいという気持ちが感じられた。自分が植えた花を公園に遊びに来て見れることも喜ばれたポイントなので、他の公園でやっても楽しんでもらえそうである。子供に限らず大人も参加していたので、みどりに触れるキッカケとしてはとても良かった。

会長

松戸には100程度の花の団体があるということも、花を楽しむ土台作りに寄与しているのではないかと。花をきっかけに多様な世代が交流できると、そこからまた活動が広がる循環にもつながるし、是非そうなってもらいたい。

議事7) 第11期委員会の答申・提言及び活動報告について

事務局

資料3でご説明させていただきます。

第11期委員会での一番の成果は基本計画になるかと思っておりますので、表紙については計画書の表紙でいかがかと思っております。

次に、市長宛ての答申の鑑となる文書となります。ここでは、委員会における基本計画の中心に

なった議論やサロン部会の活動を簡潔にまとめ、委員会の立場として、松戸市にみどりと暮らす豊かさを実感できるまちづくりを推進してほしい旨の市長へのメッセージを記載できればと考えております。

この鑑については、答申の当日、柳井会長が読み上げる部分でもありますので、今後会長と調整させていただきと思いますのでよろしくお願いいたします。

次に目次のページがございます。この目次のページで答申書のたたき台がどのような構成になっているのかをご説明します。構成はこれまでの答申書とほぼ同様の構成としております。

最初に 1. として、第 11 期委員会の活動方針を記載します。諮問の内容が基本計画についてですので、第 11 期委員会で時間を割いた、新型コロナウイルス感染症の脅威によるライフスタイルの変化に着目して、「健康に寄与するみどりの役割」について議論を進めたことや、みどりの市民力の新たな展開として、サロン部会の活動に合わせてプラットフォームについての議論を進めたことを記載したいと考えております。

次に 2. として委員会の成果をまとめます。

はじめに「基本計画策定の背景」「改定の目的」「第 10 期委員会での審議の概要」をそれまでの経過として簡単にまとめます。

その上で、第 11 期委員会での審議内容を、

- (1) として、感染症の中でのみどりが果たす役割について
- (2) として、「みどりのプラットフォーム」について
- (3) として、計画案全体の再確認に要した議論を、基本計画全般について、として、3 つの項目で整理しようと考えております。整理の仕方としましては、それぞれにおいて、経緯、委員会における主な意見、計画への反映の考え方の順に整理します。特に委員の皆さまからいただいた基本計画へのご意見につきましては、可能な限り記載しようと思っております。

次に、みどりのサロン部会の活動についてです。活動内容を 5 つの項目に整理しようと考えております。

まず (1) として、結果的に延期となってしまいましたが、第 2 回みどりのフォーラの検討について

- (2) として、まちづくりキーパーソンとの学習会の実施について
- (3) として、みどりの情報発信の検討について
- (4) として、みどりの活動のデータベース作成の検討について
- (5) として、先週の土曜日にサロン部会で参加したみらいフェスタについての、合計 5 項目です。

このサロン部会の活動報告についても、経緯からはじまり、部会での主な意見、それを踏まえた検討事項のまとめを書き込みたいと考えております。こちらにつきましては、次回のサロン部会で改めて委員の皆さまにたたき台の説明をさせていただきご意見を伺いながら、最終的には座長の高橋盛男委員と最終調整させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

ここまでお話しした基本計画とサロン部会以外の報告事項としては、関連活動として、来月予定されている「緑と花のフェスティバルへの参加」、毎年七夕の時期に笹の葉を放課後児童クラブな

どの施設に届けている「みどりの行動会議で行っている七夕プロジェクト」、また高橋清委員がリードしている「松戸花壇づくりネットワークの活動」、今年度で19回を数えた「里やまボランティア入門講座」、次回で10回目の節目となる「オープンフォレストin松戸」についての5つの活動を関連活動として記載する予定であります。

ただし、今回の委員会の期間の2年間は、コロナ感染症の拡大の期間とほぼイコールとなっておりますので、特にイベント系、例えば、緑と花のフェスティバルは2年連続で中止になり、松戸のみどり再発見ツアーについても参考資料として毎回記載しておりますが、今期間中は1回しか開催できなかったという状況でございますので、若干報告内容が寂しくなるかもしれません。

そして最後に、第12期委員会に引き継ぎたい課題をまとめるという全体の構成を考えております。以上が答申・提言および活動報告の説明となりますが、資料3は、たたき台とはなっておりますが、既にある程度まで書き込んでおりますので、何かお気づきの点等がございましたら、残りのお時間でご意見をいただければと思います。以上です。

会長

今期からの委員はご存じないと思うが、この緑推進委員会では每期市長へ活動報告と提言を行っている。市長の諮問事項は答申とし、それ以外の議論は報告と提言として発信している。サロン部会では活発な活動も行われているので、しっかりと記録して報告をすることで、来季の活動につなげていきたい。第12期の活動はこの書類を見て議論をして目標設定をしていくため、来期の道しるべとなる。この内容の議論は5月の委員会までで良いのか。

事務局

この答申書につきましては、任期が満了する6月末の最後の委員会で、直接、市長にご同席いただき、会長から市長に答申する際の成果物となります。

委員会においては、事務局でつくります案をご審議、ご確認をいただき、市長に答申する委員会最終日に承認をいただいた上で、会長より答申させていただくものです。

よって、次回5月の委員会が実際の最終審議となります。

会長

何かお気づきの点や、ご意見がございましたら、残っている時間でお聞きしたい。いかがか。

委員

今後の実際のアクションプランや他団体とのネットワーク化、SNSの活用等を盛り込んではどうか。

事務局

引き継ぐ課題として加えたいと思う。

委員

見出しを付けたりして一般の人にも分かりやすくしてはどうか。

委員

次期の委員会では計画の実行がポイントになる。短期、中期でどのように評価していくか、評価方法なんかを載せても良いのではないか。

委員

みどりのシティープロモーションの戦略を考えて実行して貰いたい。若い世代を巻き込む戦略も是非次期委員会で考えて貰いたい。

会長

気が付いたことは事務局へ投げかけて、事務局がまとめたもので次の議論をしたい。

委員

一つ承認していただきたい事項がある。

ガイドブック作成に携わった今期の入門講座修了生である中根千夏さんの今後のサロン部会への参加を承認して頂きたい。

会長

ただいま高橋委員より発議のありました事項につきまして議案としたい。

サロン部会の活動は緑推進委員でなくとも問題ないものですが、中根さんのサロン部会への参加を承認して良いか。

——承認——

会長

他には何かないか。

委員

4月29日に予定している緑と花のフェスティバルの景品については、過去にどのようなものがあったのか。

事務局

クリアファイルやぬいぐるみ等ご提供頂いたものや、駄菓子等の子供が喜びそうなものを用意していた。今年はコロナウィルスのあるので、景品の渡し方も検討中である。提供できるものがあれば、事務局へ連絡いただきたい。

委員

参加人数はどのくらいか。

事務局

例年だと景品までたどり着く人数で500人程度である。

会長

議事については、以上とします。

次に今後の委員会の日程について、事務局の説明をお願いします。

事務局

先ほどの説明と重複しますが、6月の末に最後の委員会を設定し、その委員会の後半の時間を使い、市長への答申を行います。

よって、それまでにもう1回委員会を開催、答申・提言及び活動報告の内容についての審議をお願いさせていただきます。

次回の委員会については5月16日（月）10時から開催します。

日程につきましては、現在会議する場所を押さえるのに四苦八苦していることに加え、6月5日に松戸市長選挙が予定されている関係上、日程を選べるような状況にないことから、誠に申し訳ございませんが、会場の都合と会長、副会長のご都合に合わせ日程を調整させていただきましたので、よろしく願いいたします。

会長

以上をもちまして、本日の委員会を終了いたします。ありがとうございました。